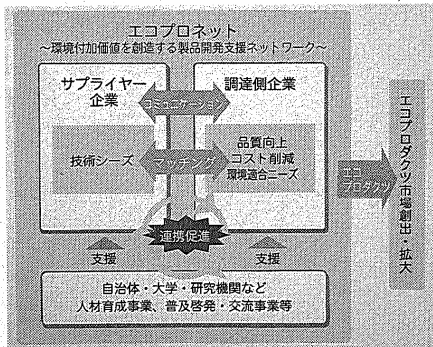


エコデザインで産学官連携

エコプロネット



設計段階から導入 中小の取り組み支援

総研の三者で事務局を運営してきたこれらの手法が中小へ伝えられていく。効果も期待されている。

「エコデザイン」という自主的活動を促進し、民間主体の取り組みが産業界の目的だったが、今年度はより具体的な成果を上げていくとして、設立一周年記念のシンポジウムやエコデザイン成功事例などの情報提供、事例発表会の開催などを計画。押し付けられるのではなく、参加企業それぞれが、削減目標を自主的に掲げるよう行動の対する関心の質的変化が

環境問題がいよいよ抜 差しならない段階に入 ってきたとの認識の深ま りから、産業界の環境へ の考え方も変化。 事務局を分担している フルハシ環境総合研究所 (名古屋市中区金山一ノ) のライフサイクル全体を 二二〇一四・金山総合ビ ーナスも多 く、エコ プロネット と同じく プラット ホームを 通じて、

環境問題がいよいよ抜 差しならない段階に入 ってきたとの認識の深ま りから、産業界の環境へ の考え方も変化。 事務局を分担している フルハシ環境総合研究所 (名古屋市中区金山一ノ) のライフサイクル全体を 二二〇一四・金山総合ビ ーナスも多 く、エコ プロネット と同じく プラット ホームを 通じて、

環境問題がいよいよ抜 差しならない段階に入 ってきたとの認識の深ま りから、産業界の環境へ の考え方も変化。 事務局を分担している フルハシ環境総合研究所 (名古屋市中区金山一ノ) のライフサイクル全体を 二二〇一四・金山総合ビ ーナスも多 く、エコ プロネット と同じく プラット ホームを 通じて、

昨年十月、東海地区の企業、経済団体、大学・研究機関、 関係する個人らが集まり、環境に配慮したもののづくりを推 進するための組織「エコプロネット」(代表 加藤征三・ 三重大学教授)が結成された。環境に配慮したエコデザイ ン導入を促進するための産学官のプラットフォームをつくり

ル内、電話052・324 5555)ではこれまで まったおり、そのための 人づくり、仕組みづくり が求められていると指 摘する。

エコプロネットは、中 部経済産業局の呼び掛け によって発足し、同局東 海技術センター(名古屋 市名東区猪子右ノ七)に 導入している手法が

質的な課題への関心が高 くなっている。参加企業は大手が25 %、中小企業が75%。環境 配慮の視点を製品の設計 段階から導入することに より、コスト低減、材料の 適正化、ムタの削減など

(津田一孝)